

平成29年度資産運用状況について

建設業退職金共済事業等勘定 特別給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。建退共制度の安定的な運営を維持しうる運用収益を確保するため、最適な資産の組み合わせである[基本ポートフォリオ](#)に沿った資産配分を行い運用を実施いたしました。

平成29年度の資産運用は、自家運用では、金利が低迷を続け利回りが低下しました。委託運用では、先進国の緩やかな景気拡大等を背景に、国内外の株価が大きく上昇し収益を確保しました。

平成29年度末の運用資産残高は330億60百万円となり、当期の運用収益は8億79百万円（運用収入が8億83百万円、うち金銭信託評価益は7億69百万円）、決算運用利回りは2.68%となりました。

なお、当期総利益は2億91百万円を計上し、利益剰余金は146億円を計上いたしました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は、期末運用資産残高155億23百万円、運用収益89百万円（費用控除後）、決算運用利回りは0.58%となりました。

[委託運用](#)は、期末運用資産残高175億37百万円、運用収益790百万円（費用控除後）、決算運用利回りは4.51%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では国内債券・国内株式・外国株式が[ベンチマーク](#)を上回り、外国債券はベンチマークを下回り、超過収益率の合計は1.78%となりました。

資 産 運 用 状 況

➤平成29年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位：百万円)

		運用の方法等	資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①－②	決算運用 利回り	
自 家 運 用	有 価 証 券	国 債	1,105	3.34%	6	-	6	0.51%	
		政 府 保 証 債	11,188	33.84%	79	-	79	0.74%	
		金 融 債	1,500	4.54%	5	-	5	0.20%	
		計	13,793	41.72%	89	-	89	0.63%	
	預 金	短 期 運 用	-	-	0	-	0	0.00%	
		普 通 預 金	1,729	5.23%	-	-	-	-	
		計	1,729	5.23%	0	-	0	0.00%	
			計	15,523 <15,282>	46.95%	89	-	89	0.58%
	委 託 運 用	金 銭 信 託	15,371	46.50%	769	-	769	5.01%	
		生 命 保 険 資 産	2,166	6.55%	25	4	21	0.95%	
計		17,537 <17,528>	53.05%	794	4	790	4.51%		
		合 計	33,060 <32,810>	100.00%	883	4	879	2.68%	

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。
 3. 短期運用は譲渡性預金である。
 4. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

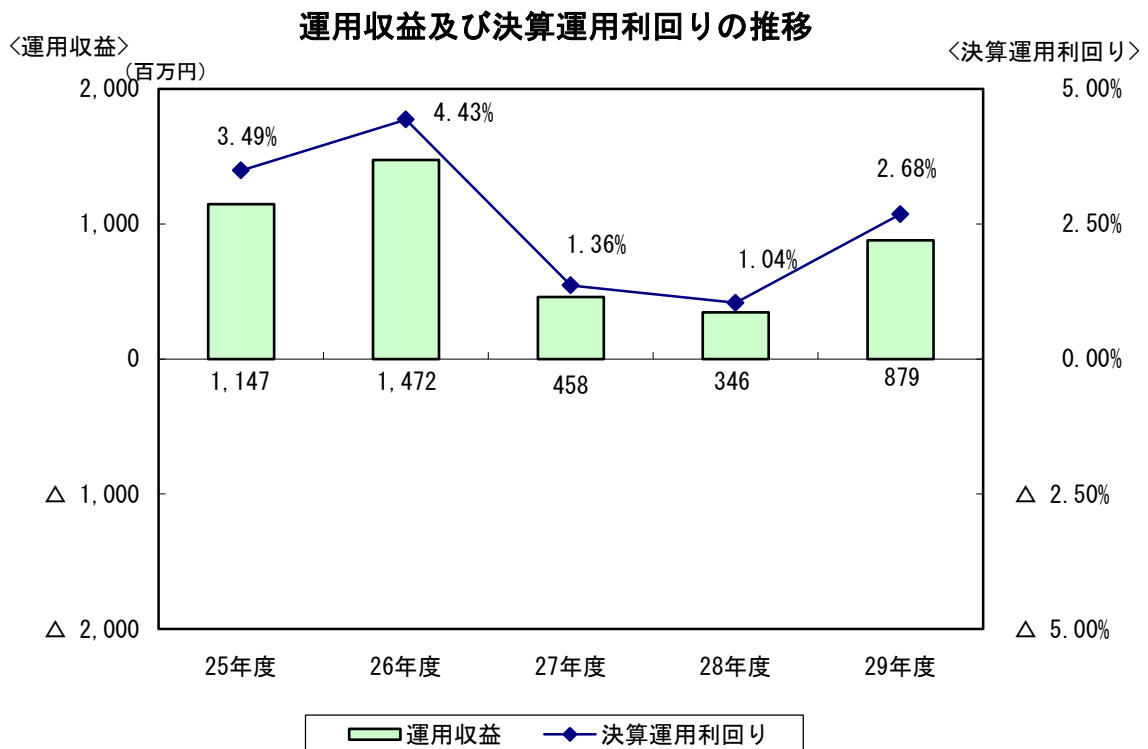
運用収益及び決算運用利回りの推移

▶ 過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりです。

(単位：百万円)

運用の方法等		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
自家運用	有価証券	220	181	146	120	89
	預金	0	1	0	0	0
	計	221	182	146	120	89
委託運用	金銭信託	891	1,257	287	204	769
	生命保険資産	35	34	25	22	21
	有価証券信託	-	-	-	-	-
	計	926	1,291	312	225	790
運用収益の合計		1,147	1,472	458	346	879
決算運用利回り		3.49%	4.43%	1.36%	1.04%	2.68%

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



自家運用資産の構成状況

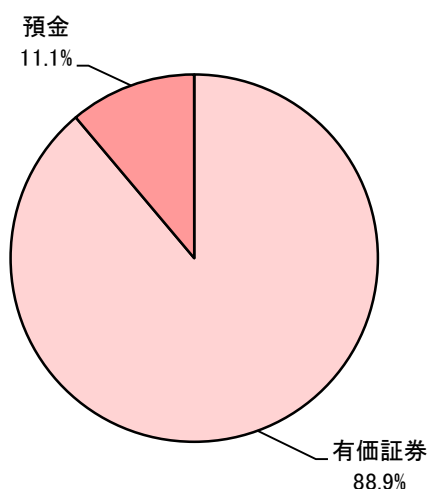
▶ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な政府保証債を中心に運用し、平成29年度末の資産額は155億円で、政府保証債の割合は72.1%となっています。

(単位：百万円)

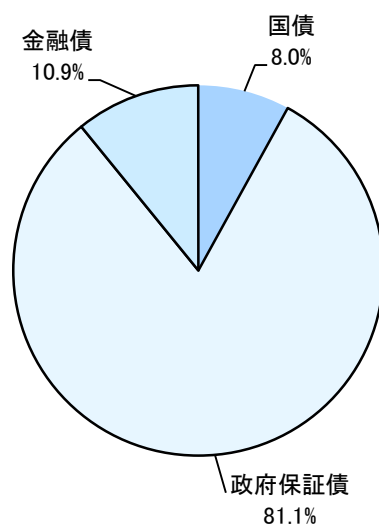
運用の方法等		資産額	構成比	有価証券構成比
自家 運用 有 価 証 券	国債	1,105	7.1%	8.0%
	政府保証債	11,188	72.1%	81.1%
	金融債	1,500	9.7%	10.9%
	計	13,793	88.9%	100.0%
預 金	短期運用	0	0.0%	
	普通預金	1,729	11.1%	
	計	1,729	11.1%	
合計		15,523	100.0%	

- (注) 1. 短期運用は譲渡性預金である。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



委託運用資産の構成状況

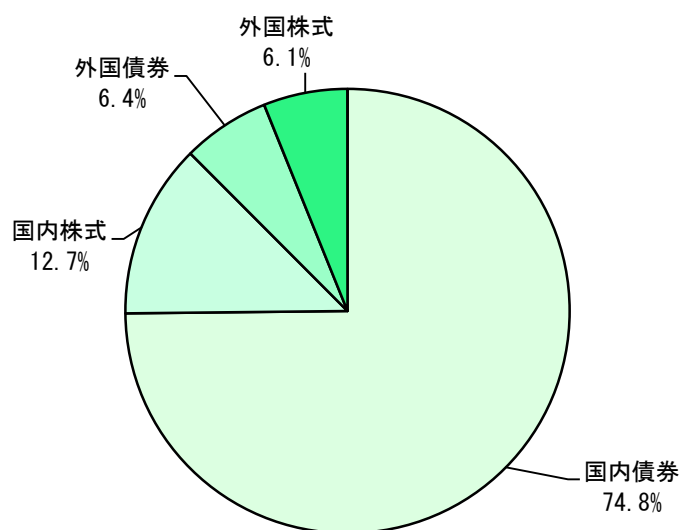
➤平成29年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(1社)及び投資顧問会社(1社)に、生命保険資産は、生命保険会社(4社)に運用を委託し、資産額は175億円となっています。

(単位：百万円)

運用の方法等			資産額	金銭信託 構成比
委 託 運 用	金 銭 信 託	国内債券	11,502	74.8%
		国内株式	1,951	12.7%
		外国債券	978	6.4%
		外国株式	940	6.1%
	計	15,371	100.0%	
	生命保険資産	2,166		
合計			17,537	

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

金銭信託構成比



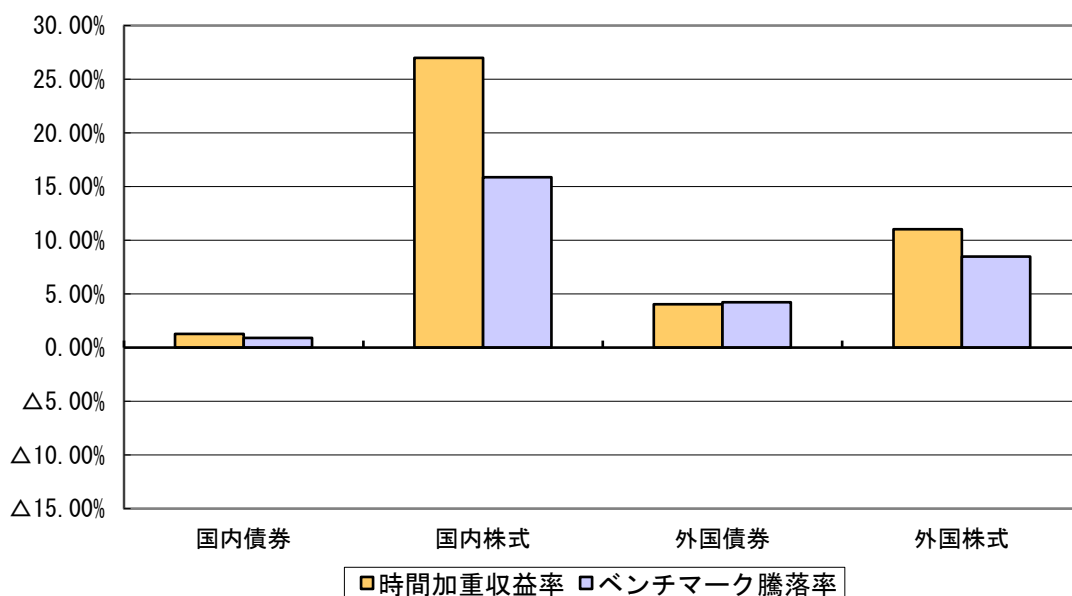
金 銭 信 託 の 収 益 率

>平成29年度は、委託運用資産のうち金銭信託の収益率（時間加重収益率）は、資産別にみると国内債券・国内株式・外国株式がベンチマークを上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。
 また、時間加重収益率の資産合計は5.35%、超過収益率の合計は1.78%となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク騰落率	超過収益率
金 銭 信 託	国 内 債 券	1.28%	0.90%	0.37%
	国 内 株 式	27.00%	15.87%	11.13%
	外 国 債 券	4.04%	4.23%	△0.19%
	外 国 株 式	11.03%	8.47%	2.56%
	合 計	5.35%	3.56%	1.78%

- (注) 1. 超過収益率の合計は、基本ポートフォリオに定める各資産の資産配分で加重した合計値である。
 2. 建退共資産における各資産のベンチマークは以下の通りである。
 国内債券：[NOMURA-BPI \(総合\)](#)
 国内株式：[TOPIX\(配当込み\)](#)
 外国債券：[FTSE世界国債インデックス \(日本を除く、円換算\)](#)
 外国株式：[MSCI KOKUSAI \(円ベース、配当込み、GROSS\)](#)

金 銭 信 託 の 収 益 率



運用資産の構成状況

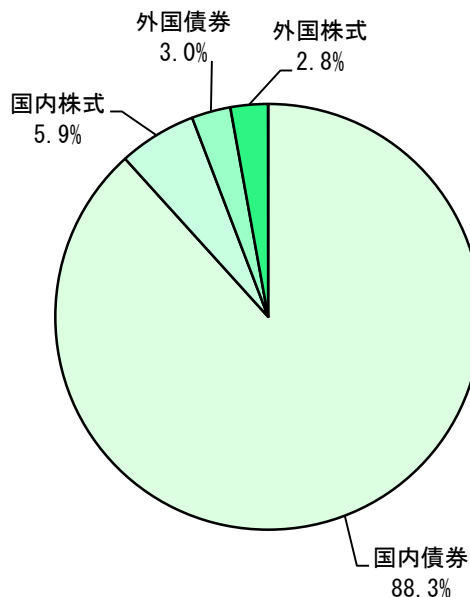
➤平成29年度末の資産構成状況は、[基本ポートフォリオ](#)に定める資産配分に対する[乖離許容幅](#)の範囲内を維持しました。

(単位：百万円)

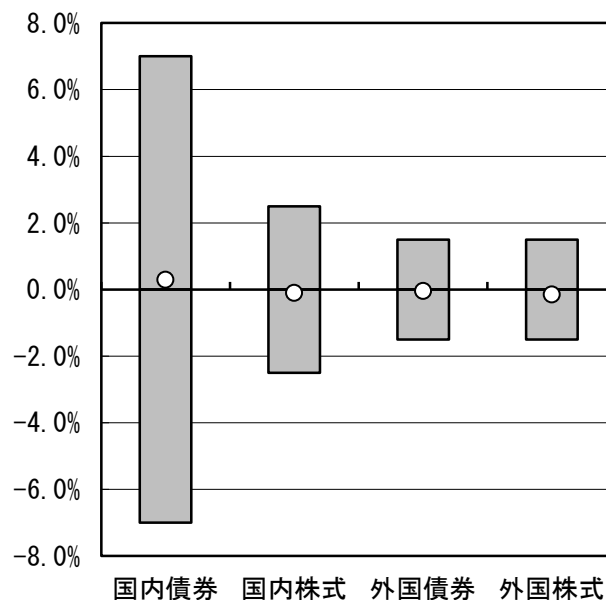
資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	88.0%	±7.0%	29,190	88.3%	0.3%
国内株式	6.0%	±2.5%	1,951	5.9%	△0.1%
外国債券	3.0%	±1.5%	978	3.0%	0.0%
外国株式	3.0%	±1.5%	940	2.8%	△0.2%
合計	100.0%	—	33,060	100.0%	—

- (注) 1. 国内債券には、預金及び生命保険資産が含まれている。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況



□ 乖離許容幅 ○ 乖離状況